



『大津絵
民衆的諷刺の世界』
クリストフ・マルケ 著
KADOKAWA 発行
定価 1,400 円＋税
☎ 0570 (002) 301
(カスタマーサポート・ナビダイヤル)
判型：文庫判／総頁数：304 頁

忘れ去られた元祖「ゆるキャラ」

大津絵をご存じだろうか。江戸時代、東海道の要衝だった大津の宿場で描かれた土産物の絵画である。明治以降、長らく忘れ去られていた庶民の絵画、大津絵の世界を紹介する決定版。鬼が念仏を唱え、神々が相撲をとり、天狗と象が鼻を競う――。

職人の大胆な線と簡略化されながらも物の本質を捉える表現で、著者はこれを奇想天外で愛らしい江戸の庶民文化が生んだ「ゆるキャラ」という。柳宗悦や梅原龍三郎、河鍋晩斎、ピカソさえも魅了された大津絵の全貌が、文庫オリジナルで蘇る。